

LANDRiV Pro リリースノート

2018年 7月 25日

LANDRiV Pro バージョン 1.7.0

目次

◆ LANDRiV Pro 新バージョンリリースのご案内	2
◆ 機能追加	2
◆ 修正、改良内容	3

◆ LANDRiV Pro 新バージョンリリースのご案内

以下のとおり、LANDRiV Pro の新バージョンをリリースいたしましたのでご案内いたします。

ソフトウェア名	バージョン	対応機種
LANDRiV Pro	1.7.0	FOCUS35 用コントローラ FZ-X1

本バージョンの主な変更点は、以下のとおりです。

- ① 座標データの複数選択削除機能を追加しました。
- ② GNSS 版で観測中は VRS 接続を切断しないようにしました。
- ③ GNSS 版で座標変換パラメータをコピーする機能を追加しました。

その他機能の改良・修正を行っております。

尚、詳細につきましては、下記内容をご確認ください。

◆ 機能追加

- 「座標データ」
 - 削除したい座標データを複数選択して削除する機能を追加しました。
- 「オートフォーカス」
 - オートフォーカスの ON / OFF 機能を追加しました。ワンマンでの観測時に OFF にすることで、速度・安定性の向上が見込めます。
- 「座標変換」 (GNSS)
 - 座標変換パラメータをコピーする機能を追加しました。

◆ 修正、改良内容

● 「座標データ」

- 座標リストの表示速度を向上させました。
- 全角文字が入っている点名が登録されていると、新規の座標入力ができない不具合を修正しました。

● 「設計データ」

- 横断データの編集を行っても値が反映されない不具合を修正しました。

● 「データ入出力」

- G T Rデータの読み込みで、任意断面を作成できない場合がある不具合を修正しました。

● 「器械設置」

- 器械設置の状態を表示するようにしました。
- 器械点情報に後視点の情報を表示するようにしました。

● 「スタックリスト」

- 基本観測の点名、T S観測設定での測距回数・プリズム定数・測標高、任意断面選択画面での任意断面名称、座標検索での点名・属性 にスタックリストを追加しました。

● 「横断観測」

- 横断放射観測（路線）で最終断面を選択するとエラー表示が出て観測できない不具合を修正しました。
- 横断放射観測（路線）で屈曲線付近の「鉛直離れ」が計算できない場所を観測した時に、「計算不能」と表示するように修正しました。

● 「現場管理」(GNSS)

- 現場詳細に、座標変換のパラメータを設定済みか表示するようにしました

● 「VRS観測」(GNSS)

- 観測中はVRS配信会社への接続を切断しないようにしました。メインメニューに戻ることで切断します。

以上